

九国の扉

キュウトビ

vol.15

2017

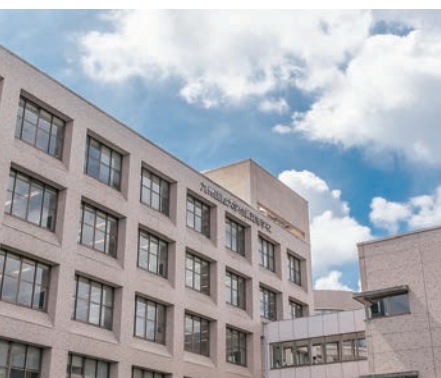
学校法人九州国際大学
学園広報誌



特集：「九国」の挑戦は続く。

DREAM100 第8回高校生作文コンテスト 受賞者発表

- ◎キャンパスレポート ◎アスリートたちの夏
- ◎人生の扉 第6話：RUGBY FOOTBALL
- ◎学校法人九州国際大学 平成28年度決算報告





KIU

Kyushu International University

KIUH

Kyushu International University High school

KIUJH

Kyushu International University Junior High school



ここに集うすべての若者たちに、未来を拓く力を身につけさせるために

「九国」の挑戦は続く。

かつて、この地には勤労青年たちが通う夜間の法学校があり、学生たちは師とともに夜が更けるのも忘れて語り合いました。

これからの社会の在り方やこの国の行く末について…。九州国際大学のルーツです。

ただ知識を詰め込むのではなく、学んだことを社会で検証し、その結果を学びに活かす。

徹底した実践教育と学生一人ひとりと本気で向き合うという建学からの塾的精神は、

今も本学はもちろん、付属高校・中学校にまで受け継がれています。

しかし、社会は変化します。社会が求めるものが変わってきたのであれば、

大学も新たな学びのステージを提供していかなければなりません。

それが、つねに地域とつながりながら地域に貢献できる人材を輩出してきた私たちの使命であるからです。

2017年4月、九州国際大学は現代ビジネス学部を新設。2学部3学科に生まれ変わりました。

先の見えない時代にあつて、すべての学生たちに未来を切り拓いていける力を身につけさせるために。

そして「九国」に集うすべての若者たちに、生涯消えることのない向学の灯をともし続けるために。

学校法人九州国際大学は、これからも全学を挙げて挑戦し続けます。



「地域」を軸に、「世界」を視野に。

より専門性、先進性に特化した新たな学びのステージが続々と！



留学体験 voice

経済学部 経済学科4年生
佐々木 純さん
(福岡県 慶成高等学校出身)



九州国際大学 現代ビジネス学部長 男澤 智浩

徹底した実践教育で、地域はもちろん、世界で通用する高度な職業人を育成する
現代ビジネス学部

今後ますます増えることが予想される外国人観光客。さらに、外国人労働者も増加傾向にあり、地域の企業といえども「世界」を意識したビジネスが欠かせなくなっています。新設された現代ビジネス学部には地域に貢献する人材を育成する「地域経済学科」、高度な語学力と国際的視野を養う「国際社会学科」がありますが、学びの中心となるのは徹底した実践教育。これまで以上に課題解決型の授業を強化することで、グローバル社会で通用する即戦力を備えた高度な職業人を育むとともに、多様な人々と協働しながら仕事を進めていくことができるコミュニケーション力を身につけます。

国際社会学科の挑戦

さらに広がった海外実習先！

日本語NGの学習環境で「使える英語力」を養う。

国際社会学科では、4年間に一度は海外体験をすることを必修としています。新たにフィリピンのシリマン大学、カナダのカルガリー大学と協定を締結。とくに、シリマン大学での実習は1年次から実施することで、在学中、できるだけ早い段階で学びの基本となる英語力が獲得できるよう配慮しました。滞在中はキャンパスはもちろん、ホームステイ先でも日本語NGという徹底した集中指導により、実習後、使える英語力が身につきます。



地域経済学科の挑戦

「北九州学」を必修科目に。



生きた経済や経営を学ぶことで
地元で強い人材を育てる。

地域の課題を解決するためには、まずはその地域を知ることが先決。そこで、「グローバル経済と生活」や「北九州学」などを必修科目とし、地域の現状をしっかりと把握したうえで、実際に北九州が抱える課題をテーマに、解決策を提案していくというアクティブな授業を行っています。地元企業家や若手起業家によるオムニバス講義もあり、教科書には載っていない生きた経済や経営を学ぶことができます。地域経済学科の魅力のひとつです。

地域での交流経験は、海外でもきっと役に立つ！

3年生の秋学期、フィリピン・シリマン大学の英語語学実習に参加しました。実習前は自己紹介すら難しかったのが、実習後は中級レベル (TOEIC450 ~ 500) で表彰を受けるほどに上達。とくに身についたのが積極的に交流する姿勢です。最初は文法も発音もままなりませんでした。いろんな人に片っ端から話しかけ続けた結果、徐々に会話ができるようになりました。人は誰でもどこかの地域と関わりながら生活しています。それは海外でも同じで、僕の場合、ゼミでの地域おこしの活動で多世代の人と交流した経験から、住んでいる街の歴史やエピソードを語ることで打ち解けることができました。自分の街を知り、地域に関わることは、海外でも役に立つことを肌で実感した3週間でした。



新・九国大、始動。



九州国際大学 法学部長 櫻井 弘晃

在学中に仕事の現場をリアルに体験できる、
全国でも例のない新コースが誕生！

法学部キャリアコース

法学部の卒業生には資格を活かして専門分野に進む者や公務員になる者もいますが、その大半は民間企業に就職します。実は、彼らは就職して初めて、法律が企業という組織を動かしていることに気づきます。しかし、在学中にそのことを理解していれば、法律を学ぶ意欲も格段に高まり、法律知識の修得についても大幅な向上が期待できるのではないかと。そういった発想から生まれたのが「キャリアコース」です。学部内に設けた「一般社団法人学生キャリアサプリア研究会」という法人組織を学生自らが社員となって運営することで、在学中にリアルな就業体験を積み重ねることができ、ユニークなコースです。

法律学科の挑戦

学生自らが法人組織を運営する「学生キャリアサプリア研究会」

教員の指導のもと、学生自ら協同して事業を企画し、法学部生に提供。



【法人の目的】

学生の就業能力の向上に寄与するための研究と支援

【法人の事業】

- ①学生の就業意識を高めるための研究
- ②学生の就業能力を育成するための研究
- ③学生の就職活動に対する支援
- ④その他目的達成に必要な事業

主要な業務部門

総務系部門	会計・財務系部門	広報系部門
<ul style="list-style-type: none"> ○業務目標と計画遂行 ○事業展開企画 ○業務調整 ○総会準備 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○収支管理 ○決算業務 ○税務業務 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○外部企業との交渉 ○活動報告書の作成 ○HP管理 など

バックアップ業務も教員の指導のもと学生が業務遂行

インターンシップとはちがう 新しいカタチの社会人体験

一般的なインターンシップでは、与えられた仕事をこなすことが基本となり、その学びの姿勢は受動的で、さらに、インターンシップの場合、就業体験と就職後の実際の仕事内容が必ずしも一致するとは限らず、その結果、「こんなはずではなかった」と離職につながることも。しかし、「キャリアコース」

では学生自らが考え、法人組織を動かす、いわば能動的な学びが中心です。さらに、専門分野の教員から直接指導を受けながら事業展開や組織管理を行い、幅広い分野の専門業務を段階的に体験していくことから、就職後、即戦力となる力を身につけることができます。それは学生にとっても大きな自信となり、ひいては離職率抑制の効果も生み出すことが期待できます。

賛助会員となつていただける 企業を募集！

キャリアコースの法人活動は、まだスタートラインに立ったばかりですが、この活動を通じて、より社会に有用で、より地域に貢献できる人材を育成していきたいと考えています。そのため、欠かせないのが、企業の就業に関わる情報です。現在、賛助会員となつていただき、情報をご提供いただける企業様を募集しています。本法人の目的と活動趣旨にご賛同いただき、ご協力いただける企業様は左記ホームページよりご連絡いただければ幸いです。

<http://www.kiu.ac.jp/kiu-company>

在学生 interview

以前、税務署でアルバイトをしていたこともあり、法人税にとっても興味があります。学内で法人組織の運営に関わることができるキャリアコースなら、法人税について学べるのはもちろん、組織運営のスキルも身につけられるのが魅力。ビジネス文書や議事録などを作成する時も法律の知識が求められることを知り、ますます法律について深く学びたいと思うようになりました。民法についても勉強したいし、将来は宅建の免許も取得したい。夢はふくらむばかりです。

法学部 法律学科 2年生
岩田 真優子さん
(福岡県 鞍手高等学校出身)





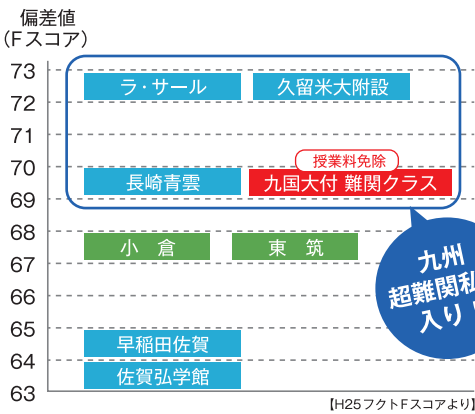
今や九州の高校を代表する「九国ブランド」に！

付属高校の偏差値は年々上昇の一途をたどっており、今や九州の超難関私立高校と肩を並べるほどに。本年度も県内NO.1受験者数を達成したばかりでなく、難関クラス入学者のうち60%以上が県立高校を受験せず、または県立トップ高校合格を辞退して本校を選んでくれました。まさに滑り止めの逆転現象が起きているのです。その理由は、なんといっても地域トップレベルの大学合格実績にあります。本年度も国公立大学、難関私立大学に多くの生徒が合格しており、現役合格率はなんと90%！九州を代表する「九国ブランド」へと成長し続ける付属高校に、多くの中学生とその保護者、学校関係者の熱い期待が集まっています。

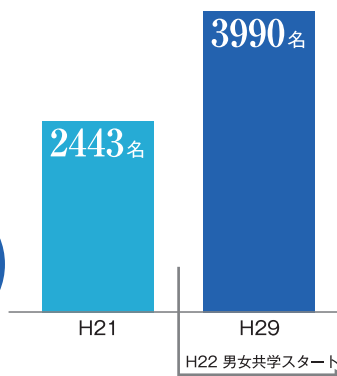
「九州の超難関私立高校に迫る偏差値！東大、九大をはじめとする大学現役合格率90%！九州の超難関私立高校をリード！」

「九国の教育改革」

◎九州難関高校の一角に！



◎受験者数大幅増！



難関国立大学 合格者数 (平成29年度実績)

東京大学……………1名 大阪大学……………1名
九州大学……………17名 神戸大学……………1名

医・歯・薬大学 合格者数 (平成29年度実績)

医学部医学科……7名 歯学部……2名 薬学部……16名
岡山大学(医・医)……1名 産業医科大学(医・医)……1名
福岡大学(医・医)……2名 防衛医科大学(医・医)……2名
九州大学(歯)……1名 東京歯科大学(歯)……1名
千葉大学(薬)……1名 福岡大学(薬)……2名
(ほか多数)

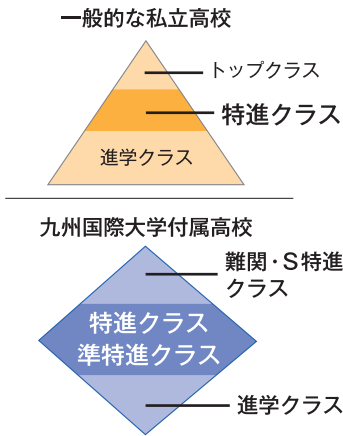
九国の教育改革、進行中

**教師数120名！
授業が最大の商品**

付属高校の最大の商品は「授業」と、それを行う「教師」だと考えています。そのため、公募採用試験により、「九国の教員になりたい」という強い意志と熱意を持った優秀な人材だけを採用しています。採用後も定期的に外部の専門機関による授業アンケートを行い、「わかりやすい授業」を追求。総勢120名の教師には、生徒以上に切磋琢磨すること、つねに教師力を向上させることを要求しています。

学習意欲の高い環境で勉強できる！

一般的な私立高校のクラス編成では、トップクラスに行くほど定員が少なくなる「ピラミッド型」であるのに対し、付属高校のクラス編成は中間層である特進クラスの生徒が最も多い「ダイヤモンド型」となっています。つまり、学校全体の雰囲気には特進クラスのカラーが最も強く反映されており、進学クラスからステップアップしやすいのも特長。この層の厚さが付属高校のレベルの高い学習環境を生み出しています。



**運動部だけじゃない！
文化系クラブも全国レベルの活動！**

全国高校総合文化祭写真部門(みやぎ総文2017)出場

去る8月1日～3日、宮城県仙台市で開催された全国高等学校総合文化祭に出場してきました。写真部としては、今までに3回九州大会に出ているのですが、今回初めての全国大会出場です。写真部の全国大会って何をやるの？と思われるでしょうね。大会は、各県で全国大会への出品を推薦された作品(福岡県では約4,000点の作品から10作品、1校1名全10校)を展示する作品展と写真家による講演会、写真撮影会、生徒交流会、審査員の講習会といった研修が行われます。今回は仙台市内、松島、国営みちのく社の湖畔公園にわかれたの撮影会でした。作品展においては、309作品から最優秀賞3、優秀賞7、奨励賞20点が選出されましたが、本校は残念ながら上位の入賞はありませんでした。応援ありがとうございました。

付属高校 写真部顧問 中山 知之

▼全国大会推薦作品(組写真) 『夕食、何?』



撮影者：3年 坂井 優花さん

～学生書道のグランプリ～

第22回全日本高校大学生書道展にて受賞

今年も書道部では、第22回全日本高校大学生書道展の作品募集のため、1学期早々から2か月以上かけて作品制作に取り組みました。その結果、書道展賞(準大賞)2名、優秀賞1名と3名が入賞し、大阪市立美術館での展示が決定しました。

本来、運動部の大会などは、予選や県大会などを経て全国大会へと順を追って大会が行われますが、書道の場合、一気に本展が開催されることが多いため、即レギュラーでみんなが同じ土俵で競うことに。部員たちのうれし涙と悔し涙が交錯する結果となりました。

しかし、みんなの努力の甲斐あって、毎年全国から1万点を超える出品があり、書道展賞は高校大学生合わせて300人ほどしか選ばれないという狭き門でありながら、3名が入賞するという快挙を果たすことができました。また、この展覧会は、書芸術の継承と発展を担う若者を育てるという創設意義もあり、作品サイズが大きいのが特徴。高校1年生にとっては、よく使われる半切サイズ(30cm×130cm程)でも大きくて苦戦するなか、いきなり、縦が2m30cmもある作品への挑戦でした。本当に頑張ってくれたと思います。

展覧会は8月22日から大阪市立美術館で開催され、受賞者3人とともに誇らしい気持ちで会場へ足を運ぶことができました。その後、リーガロイヤルホテルで1千人もの参加者が集い、盛大な授賞式、懇親会が行われました。来年は、生徒もめざしている書道展大賞を、ぜひとも受賞させたいと思っています。

付属高校 書道部顧問 長沼 孝昌

2年 中村 圭吾さん

2年 河合 拓馬さん



**前例にとられない
ユニークな取り組みも！**

たとえ前例がなくても、生徒の学習意欲の向上や成長につながることで、必要なことであれば取り入れる。不要なことは勇気を持って廃止する。従来の高校の常識にとられない付属高校のユニークで効果的な取り組みは、中学校や塾の先生方からも、さらなる発展が期待できる高校、安心して入学を薦められる高校として、高い評価をいただいています。

TOPICS!

●朝課外を廃止して学習効率アップ

多くの高校で実施されている「朝課外」。しかし、付属高校では遠方から通学する生徒や保護者の負担を減らすため、「朝課外」を全面的に廃止しました。その分、土曜セミナーや放課後課外などで効率的な学習をサポート。学力低下を心配する声もありましたが、その後も右肩上がりの大学合格実績を実現しています。

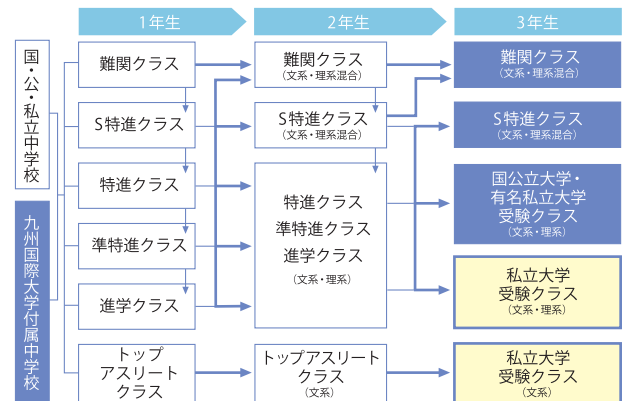
●携帯電話、スマホの使用OK

携帯電話、スマートフォンに関しては、これまでの学校教育における「使わせない指導」ではなく、「正しく使う指導」をする学校として、地域の高校に先がけて、校内への携帯電話、スマートフォンの持ち込み、使用を許可しています。

●学校内で転校できる!?

生徒の成長に合わせて、クラスを替えることができる学内転校を実施しています。生徒一人ひとりに、よりベストな学習環境を提供するための付属高校ならではのプログラム。学習へのモチベーションアップにもつながっています。

- 1年生は入試の成績と本人の希望により、難関クラス、S特進クラス、特進クラス、準特進クラス、進学クラス、に分かれます。
- 3年生から実力と志望進路に合わせてクラスが編成されます。
- 進級時に年間の成績と希望に応じて、クラス替えを行います。



※難関クラス・S特進クラス・トップアスリートクラスにおいては奨学金制度があります。その他のクラスを希望した生徒でも奨学金の採用基準に達していれば選抜されます。



自分の「限界」を超える。合言葉は、K点突破！

スキージャンプ競技で、赤い線で示される「K点」。これ以上飛ぶと危険であるという「極限点」を意味しますが、実際にはこれを超えなければ入賞は難しいといわれています。私たちの心にも、目に見えない「K点」が存在します。誰でも新しい何かに挑戦しようとする時、不安はつきもの。つい、自分の「限界点」を低く見積もりがちです。付属中学校では生徒たちのそのような思い込みによる消極性をK点として、これを突破し、成長を遂げることので「未見の我」を発見できるように指導を行っています。「K点突破！」生徒一人ひとりのやる気と積極性を引き出す合言葉です。



育ち盛りの中学時代は学力も基礎づくりが大切！

中学生期（青年前期）は思春期に入り、心身ともに揺れ動きやすい時期である一方、自分の生き方を模索し始める時期。まさに、中学時代の経験が人間形成のベースになるといえます。付属中学校は豊富な体験学習を通して、発達段階に応じた自立をうながし、個性豊かな人間性や集団生活に欠かせない協調性を育む教育に力を入れています。また、学力を伸ばす一番の近道は「継続」にあります。自分の学習レベルに合わせて目標を設定したK点突破ノート（KTN）を使い、家庭学習の定着をはかることで、基礎から着実にステップアップしていく力をつけさせます。

「体験」と「継続」学習が 学びの体幹を強くする。

発達段階に応じた丁寧な指導で、学びのスイッチをオンに！

読む、書く、表現する
日本語力を高める

正しい日本語を学ぶことは、生きることそのもの。ことばを磨き、心を磨く。それが他の人の心にも響きます。プラチナ10(朝の読書)、古都探訪教室での百人一首の取り組み、自分発表会などの活動を通して日本語力を高め、豊かな人間へと成長するためのことば磨きを日々積み重ねています。

読む、書く、聞く、
話す英語力を高める

グローバル化が進むこれからの社会では、あらゆる場面で英語が必要になります。そのため受験のための学習にとどまらず、スピーチコンテストやスキット(英語劇)、海外体験教室など、使える英語力を高めるさまざまな活動を用意しています。さらにその活動の中で、他国の文化についても学びます。

基礎の徹底と応用力を養う
PAT&ACT

必要な基礎知識を定着させるために、社会・理科・英語では100問の暗記テスト、PAT(パーフェクトトライ)を各学期末で実施しています。主要五教科の定期考査では論述形式のテスト、ACT(アクティブトライ)を採用。総合的な学力の向上をめざし、基礎の徹底と応用力を養う指導を行っています。

先進の学習サポートでグングン力が身につく!

●速習クラス

高校受験で力の差が出やすい英語と数学は、より速く、深く学べる速習クラスを設置。難関高校への力をつけさせます。標準クラスでも3年の2学期中間考査までに教科書を終わらせて受験勉強に入ります。

●ICタブレット

従来の黒板と併用しながらICタブレットを導入しています。タブレットは手で操作できるので効率よく授業を進めることができます。興味のある内容を映し出すことにより、生徒の集中力を高める効果も。

●電子黒板プロジェクター

絵や図、動画などを大きな画面に映し出すことで、学習内容がよりわかりやすくなりました。また、板書の時間が短縮できるので、生徒たちの考える時間が増え、学習効率がアップ。各教室に常備しています。

生きる力を育むところcolorの体験学習



付属中学校は知・徳・体の調和の取れた生徒を育成するために、すべてのことに「心から(こころcolor)」「自分の色」で取り組む、「こころcolorの体験学習」を取り入れています。将来を考えるキャリアガイダンスや、地域の歴史や文化に触れる「北九ウォーク」、友だちとの絆を深める「宿泊研修」など多彩な体験学習にチャレンジすることで、たくましさと思いやりにあふれる、生きる力を育てていきます。



校長先生との距離が
グッと近くなる!



すべての生徒を対象に、放課後の時間を使って校長先生とお話をする機会を設けています。面談を終えた生徒に感想を聞くと、「大人のひとときちゃんと向き合ってた!」と答えていました。

校長面談(1WP)

先生も
成長しなくっちゃ!



すべての教員が年1回、研究授業に取り組みます。授業後は「自己評価記録表」「参観者評価記録表」を作成し、たがいの授業力を磨きます。中学校は教科担任制ですが、たとえば国語であれば数学の教員というように専門外の教科の授業も参観しあいながら、興味を引く授業、自身の濃い授業、力がつく授業を追求し、生徒と教員が、ともに伸びる授業をめざしています。

研究授業の取り組み

九州・山口の高校生を対象に、
100文字以内で思いをつづつてもらおう
恒例の作文コンテスト。
今年「人生最大のサプライズ」をテーマに
作品を募集したところ、
44校から計6,882の力作が集まり、
厳正なる審査の結果、
5賞と入選95点が選ばれました。



2017 Dream100
今年のテーマは、
「人生最大のサプライズ」

DREAM100 第8回高校生作文コンテスト



開学80年を記念して始まった「DREAM100」高校生作文コンテスト。名前の「100」には開学100周年に向け、たゆまずに歩き続けようという決意と、高校生の夢が「満点」の花になるようにという願いが込められており、今年で8回目を迎えます。

今ではすっかり夏休み前の恒例の課題となっている高校も少なくないようですが、100文字という枠の中で自分の思いを伝えることは、そう簡単ではありません。単に無駄を削ったり、表現を工夫するだけでなく、伝えたいことを追求するためにとことん自分と向き合う必要があります。しかし、この過程が生徒の成長をうながし、将来の夢や目標を見つげるための最適なトレーニングになります。

今年のテーマは「人生最大のサプライズ」。まさに、九死に一生を得るような体験があったり、日常の中に忘れがたい幸せを見出す出来事があったり…。6,882点もの力作が集まりました。最終審査まで残った作品はいずれも甲乙つけがたく、急きょ「選考委員長特別賞」を設けることとなりました。高校生ならではののみずみずしい感性が出会った「サプライズ」をご一読ください。

ようこそ！たくさんのサプライズ！

大賞の宮崎農業高校・中平りんかさんの作品は、幼い頃、命に関わる事故にあったが、自分の目に映ったのは青い海と空。「お前は笑顔だった」という母のセリフが最高だ。読後、込み上げてくる幸福感。意表をついた作者の視点と文章力に拍手を送りたい。青豊高校・高野哉多さんの、瀕死の父を乗せて走る救急車の簡潔な描写も良かった。ピッピーという擬音が活写する。これぞ命の復活の「サプライズ」だ。小倉南高校・織田しずくさんは、珍しい名前の由来。なんと美しい親から

の贈り物だろう。須恵高校・泉遥香さんと北筑高校・阿部遥香さんの家族からのサプライズも心に残った。選外で印象的だったのは高城高校・関之尾遥香さんの作品。原爆ドームを見て涙を流していると、外国人が泣きながらティッシュペーパーを分けてくれたという社会的視座のある文章だが、外国人の国や性別が書き込まれていなかったのが惜まれる。

選考委員長
芥川賞作家・九州国際大学客員教授 村田 喜代子氏



選考委員長特別賞

織田 しずくさん

(福岡県/小倉南高等学校2年)

私	の	名	前	を	親	か	ら	教	え	て	も	ら	っ
た	時	で	す	。	母	の	「	い	づ	み	」	か	ら
産	ま	れ	た	か	ら	私	は	「	し	ず	く	」	と
名	付	け	ら	れ	、	一	つ	の	水	滴	は	す	ご
り	小	さ	い	け	ど	、	小	さ	い	な	り	に	周
り	の	人	を	支	え	ら	れ	る	子	に	な	っ	て
ほ	し	い	。	人	生	最	大	の	サ	プ	ラ	イ	ズ
で	す	。											



名前は親からもう最初のプレゼント。どの名前にも両親の想いや願いが込められています。私は「しずく」という名前が大好きです。まだ自分の名前の由来を知らない人がそれを知ること、自分の名前がどれだけ素敵なものなのかを感じてほしくて題材に選びました。

FBS福岡放送賞

高野 哉多さん

(福岡県/青豊高等学校3年)

ピ	ッ	。	ピ	ッ	。	ピ	ッ	。	ピ	ー	。	事	故	
で	重	傷	を	お	っ	た	父	の	命	が	救	急	車	の
中	で	燃	え	つ	き	た	瞬	間	だ	っ	た	。	A	E
D	で	命	を	取	り	戻	そ	う	と	し	て	い	る	救
急	救	命	士	の	横	で	僕	は	泣	い	て	い	た	。
ピ	ッ	。	ピ	ッ	。	突	然	、	父	の	心	臓	が	再
び	動	き	だ	す	音	が	し	た	。					



短い文章の中で、いかに緊迫した状況と、その後の安堵の気持ちを伝えるかに苦労しました。この作文を読んで、一人でも多くの人に命の大切さを感じてもらえたらうれしい。まさか自分の作品が選ばれるとは思ってなかったので、受賞したことも僕にとってはサプライズです。

Dream大賞

中平 りんかさん

(宮崎県/宮崎農業高等学校3年)

空	が	青	か	っ	た	。	広	い	海	を	見	て	い	た
は	ず	な	の	に	気	づ	い	た	ら	私	は	空	を	見
て	い	た	。	体	は	冷	た	く	揺	れ	て	い	る	。
私	は	海	に	落	ち	た	の	だ	。	こ	れ	は	3	歳
の	頃	の	出	来	事	で	あ	る	。	す	ぐ	に	父	に
助	け	出	さ	れ	た	が	、	母	は	後	に	語	る	。
お	前	は	笑	顔	だ	っ	た	と	。					



細かいことはあまり覚えていませんが、小さかった私が生まれて初めて自然の大きさ、美しさを感じた瞬間でした。将来の夢は、自然環境の分野で野生動物の保護活動に取り組むこと。もしかしたら幼い頃のこの貴重な経験が、私の夢の原点となったのかもしれない。

最優秀学校賞

福岡県/折尾高等学校

優秀学校賞

福岡県/小倉南高等学校

福岡県/博多高等学校

学校賞 (順不同)

- 【山口県】 宇部フロンティア大学付属香川高等学校、田部高等学校、野田学園高等学校、宇部中央高等学校、柳井学園高等学校、鴻城高等学校、桜ヶ丘高等学校
- 【福岡県】 福岡常葉高等学校、九州国際大学付属高等学校、つくば開成福岡高等学校、慶成高等学校、西南女学院高等学校、八幡高等学校、北筑高等学校、福岡魁誠高等学校、青豊高等学校、北九州高等学校、福岡大学附属若葉高等学校、福岡海星女子学院高等学校、須恵高等学校、希望が丘高等学校、三池高等学校、糸島農業高等学校
- 【佐賀県】 東明館高等学校
- 【大分県】 大分鶴崎高等学校、東九州龍谷高等学校、大分東高等学校
- 【熊本県】 ルーテル学院高等学校、高森高等学校
- 【宮崎県】 福島高等学校、高城高等学校、宮崎農業高等学校、小林西高等学校
- 【鹿児島県】 大口高等学校、樟南高等学校、出水商業高等学校、串木野高等学校
- 【沖縄県】 名護高等学校

全入選者はホームページに掲載中!

九国大 ドリーム100

検索

選考委員会特別賞

阿部 遥香さん

(福岡県/北筑高等学校3年)

私	が	部	活	を	引	退	し	た	日	、	冷	蔵	庫	に
小	さ	な	箱	が	あ	っ	た	。	そ	れ	は	、	い	つ
も	一	言	も	話	さ	な	い	兄	か	ら	の	も	の	で
、	中	に	は	ケ	ー	キ	が	2	つ	入	っ	て	い	た
。	箱	の	す	み	に	「	お	疲	様	」	と	書	い	て
あ	っ	た	。	今	ま	で	食	べ	た	中	で	1	番	幸
せ	な	味	だ	っ	た	。								



100文字という限られた文字数の中で、自分の気持ちやその時の状況を、少しでも読む人に伝えられるよう工夫を重ね、何度も推敲を重ねて書き上げました。読み返すたびに、部活への情熱と支えてくれた周りの人たちへの感謝、無口な兄のやさしさがよみがえってきます。

読売新聞西部本社賞

泉 遥香さん

(福岡県/須恵高等学校3年)

小	学	校	の	卒	業	式	。	私	の	母	は	病	気	で
入	院	し	て	い	た	た	め	来	る	こ	と	は	で	き
な	い	だ	ろ	う	と	思	っ	て	い	た	。	だ	け	ど
卒	業	式	が	終	わ	り	退	場	し	て	い	く	時	、
保	護	者	席	の	隅	で	車	イス	に	座	る	母	を	見
た	。	私	は	そ	の	瞬	間	、	母	と	同	じ	様	に
涙	が	溢	れ	出	て	い	た	。						



作文を通して伝えたかったのは、愛情は当たり前ものではないということ。どんな些細な事でも私のために誰かが何かをしてくれる時、そこには必ず愛情があり、その愛情を受けた私は、相手に対して感謝の心を忘れてはいけないということを強く実感した出来事でした。

■主催/九州国際大学 ■共催/読売新聞西部本社 ■後援/北九州市、FBS福岡放送

■選考委員長 芥川賞作家 九州国際大学客員教授 村田 喜代子氏

■選考委員

九州国際大学学長 西川 京子 北九州商工会議所専務理事 羽田野 隆士氏 FBS福岡放送 取締役 飯田 政之氏 読売新聞西部本社 編集委員 時枝 正信氏

現代ビジネス学部開設記念講演会とシンポジウムを開催

主催／九州国際大学

後援／北九州市、北九州市教育委員会、北九州商工会議所、九州国際大学同窓会橘会、九州国際大学現代ビジネス学会



7月8日(土)、現代ビジネス学部1年生を対象に、本学KIUホールにて本講演とシンポジウムが開催されました。当日は、基調講演としてTOTO株式会社上席執行役員人財本部長の平野 氏貞氏をお迎えし、国際社会で活躍する人財についてお話をいただきました。その後、平野氏に加えて八幡駅前開発株式会社の井上 龍子代表取締役社長、北九州市教育委員会の古賀 厚志教育次長、本学在学学生2名、計5名のパネリストによるパネルディスカッションを開催。

古賀氏は、北九州市が抱える少子高齢化の課題を強みに変える介護ロボットの開発について、井上氏は学生時代の海外体験が「けやきテラスプロジェクト」という今の仕事にも生かされていることを語られました。本学経済学部の佐々木さんは、地域づくりコースに所属し、地域やJICAとの活動に取り組むうちに英語の重要性を実感し、フィリピンに単身語学実習に行ったこと。国際関係学部の田中さんは、韓国・東亜大学校留学中の異文化体験について述べ、これを受けて平野氏が「一つひとつの経験は点の集積にすぎないが、これをつなげることが知恵や知識となり、ひいてはグローバル社会を生き抜くために不可欠なコミュニケーション能力の向上にもつながる」と結んでくださいました。終了後に実施された懇親会でも活発な意見交換が行われていました。



地域の防犯力を高めるために、「地域安全マップ製作活動」



法学部リスクマネジメントコースの「地域安全マップ製作活動」は、「専門演習A」(姜ゼミ)に参加する3年生が中心となって、地域の小学校で防犯教育を行う「地域安全マップ」をつくっています。子どもたちに地域の「危険な場所や安全な場所」についての理解を高めてもらうことが目的で、行政や警察、ボランティアの方々の協力を得ながら活動しています。2016年度は4カ所の小学校を訪問。活発な活動を行い、先生や子どもたちからたくさんの感謝の手紙をいただきました。この活動を通してゼミ生たちは、地域の人と協働しながら働くことの意義を学ぶとともに、段取り力や課題解決力といった社会人に不可欠な力も身につけていきます。2017年2月には福岡市東区小学校PTA連合会主催の講演会に招待され、これまでの活動についての講演を行うことができ、ゼミ生たちのモチベーションもさらにアップ！ 2017年度も3カ所の学校で活動を実施する予定です。



学ぶ意欲に、年齢制限はありません。大学院で、もう一度勉強してみませんか？

九州国際大学 大学院
法学研究科



学ぶ意欲と一定の能力があれば、年齢、経歴(学部、職歴)を問いません。大学を卒業していない方でも入学は可能です。(入学資格審査を受けて合格することが本試験を受験する条件になります。)

◆税法演習、民法演習Ⅱ(親族・相続)、民法演習Ⅲ(総則・債権)、刑法演習、刑事訴訟法演習の専攻科目があります。また、専攻科目以外の科目も法律を中心に幅広く学ぶことができます。

入試要項・カリキュラム概要など、くわしくは下記のサイトをご覧ください。

九州国際大学 大学院
企業政策研究科



税理士をめざす方や、専修教員免許状の取得をめざす中学校・高校の先生方、企業・団体の管理職や自営業の方はもちろん、現役を引退後、さらに深く学びたいという方も大いに歓迎します。

◆高度職業人教育に特化した専攻科目で、企業活動環境をめぐる幅広い研究を行うことができます。働きながら学ぶことができる、夜間中心(18:00-21:00)の時間割を採用しています。

入試要項・カリキュラム概要など、くわしくは下記のサイトをご覧ください。

<http://www.kiu.ac.jp/faculty/graduate/law/>

<http://www.kiu.ac.jp/faculty/graduate/co/>

年間20講座以上も！ 大学出前授業

付属高校では、全学年の生徒を対象にキャリア教育の一環として、大学の先生による出前授業が行われています。年間3～4回、土曜日の午後に各大学の先生方が研究しているさまざまな分野をわかりやすく生徒向けに講義していただいているので、人気の授業は100名近い希望者が集まることも！

下の例は出前授業の一部ですが、経済学部の入門講座や、工学部ではどんなことを学ぶのか、農学部ではどんな研究をしているのかなど、その授業は多岐にわたります。日々の学習へのモチベーションを上げ、失敗しない進路選びを考えたりと、自らの進路を考えていく上で多くの生徒の貴重な経験となっています。



授業例

- ・九州大学(芸術工学部)「都市計画～エコロジーの力～」
- ・九州工業大学(情報工学部)「情報工学のもたらす世界探訪」
- ・北九州市立大学(文学部)「太宰治『葉桜と魔笛』の解釈」
- ・宮崎大学(農学部)
「農学部で学ぶ細菌学～食中毒を起こすO157～」
- ・西南学院大学(人間科学部)「私たちの記憶の仕組み」
- ・福岡大学(薬学部)「身近な薬～薬が身近になるまで～」
- ・九州国際大学(現代ビジネス学部)
「お金の貸し借り～借金を返しすぎたらどうなるか～」

九国付高に咲く花～女子力に注目～

付属高校には現在752名の女子生徒が在籍しています。彼女たちは学校生活のさまざまな場面で、勉学にクラブ活動にと活躍を見せています。付属高校の現生徒会長の岩田愛香さん(永犬丸中)を含め、生徒会長は3代続けて女子生徒です。また、応援団も現団長の砥川葵衣さん(霧丘中)を含め、3代続けて女子生徒が応援団長を務めています。今後も、活躍が期待される女子生徒の中から、今回は2名を紹介します。



岩田愛香さん



砥川葵衣さん

1人目は、今年3月に卒業した鶴野郁子さん(福教大附属小倉中)です。県立高校の合格を辞退して難関クラスへ入学した彼女は、3年間、最後まで諦めずに高い目標を持ち続けました。そうして努力を続けた結果、九国史上初となる女子の東京大学(文Ⅱ)現役合格を果たしました。また、3年間皆勤も達成し、卒業式では総代を務めました。現在は、東京大学運動会ホッケー部のマネージャーとしてキャンパスライフを満喫しています。



鶴野郁子さん

2人目は、現在1年S組に在籍している平島陽子さん(インドロピリ校)です。彼女は小学校5年生から約5年間、オーストラリアのプリズベンで生活し、この春、日本に帰国。現地で培った抜群の英語力を発揮し、九国史上初となる英検1級と準1級に、1年生でダブル合格しました。持ち前の国際感覚で、今後どのような国際人へ成長していくのが楽しみな生徒です。



平島陽子さん

Junior High School

付属中学校の生徒が、科学の甲子園ジュニア全国大会に出場します！



科学の甲子園ジュニアをご存じですか？ 国立研究開発法人「科学技術振興機構」が科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的として主催する大会で、全国47都道府県から選抜された中学生が出場し、科学の思考力、技能を競う大会です。今年で5回目を迎えるこの大会。過去4回で福岡県代表チームは準優勝1回、10位入賞2回を獲得しています。去る8月27日(日)、福岡県大会が行われ、九国大付属中学校Aチーム(岡本 武士君、福田 一磨君、前田 学太郎君、いずれも中学2年生)が好成績を収め、久留米大附設中学校の3人と一緒に福岡県代表選手として全国大会へ出場することになりました。

福岡県大会では、実際に0.25m、0.5m、1m、1.25mの振り子を作って周期を計測した後、振り子に関する法則を示せという問題が出されました。これは高校の物理で学習する内容ですが、中学生が頭と体を使って、まだ知らない法則や公式を導き出すというものです。まさに数学と理科の知識をフル活用し、チームで協力して難問に挑む科学の最高峰を競う大会です。

全国大会は平成29年12月1日(金)～3日(日)に、つくば国際会議場/つくばカピオで開催されます。強豪ぞろいの全国大会で、思う存分力を発揮できることと期待しています。

University

平成29年度サークル活動 主要な成績

◎硬式野球部

2017九州六大学春季リーグ **準優勝**

◎ウエイトリフティング部

第63回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会

77kg級 本田大智(4年) **2位**

+105kg級 丸本大翔(2年) **3位**

第77回全日本ウエイトリフティング選手権大会

77kg級 本田大智(4年) **3位**

2017世界ジュニア選手権大会

105kg級 岩崎貴之(3年)

S: 3位 C&J: 10位 Total: 7位

105kg級 丸本大翔(2年)

S: 10位 C&J: 8位 Total: 9位



◎バドミントン部

第57回九州学生バドミントンリーグ戦大会 **優勝**

(10連覇) 団体1部

第66回九州学生バドミントン選手権大会 団体 **優勝**

男子シングルス **1位** 武生卓也(3年)

2位 谷野悠太(1年)

女子シングルス **1位** 中野愛美(3年)



◎バスケットボール部

第21回日本男子学生選抜バスケットボール大会

準優勝 九州代表 木下圭一郎(4年)



◎柔道部

第61回九州学生柔道体重別選手権大会

90kg級 吉岡志仁(4年) **3位**

第36回全国学生柔道体重別選手権大会 90kg級出場



◎陸上競技部／トライアスロン

第34回九州学生駅伝対校選手権大会(H28)男子4位

第23回日本トライアスロン選手権大会

蒔田亜伽音(4年)、蒔田百合音(2年)

ASTCトライアスロンアジアカップ2017大阪大会

蒔田亜伽音(4年) 29位

ASTCトライアスロンアジアカップ2017高松大会

蒔田亜伽音(4年) 27位

High School

◎バドミントン部

全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会

7月29日(土)～8月3日(木)

団体戦 女子ベスト8

ダブルス男子出場 伊藤良樹(3年)・石橋陸(2年)

ダブルス女子ベスト8 平野紗妃(3年)・小西春七(2年)

シングルス男子出場 石橋陸(2年)

シングルス女子出場 松岡真那(3年)



◎ウエイトリフティング部

第19回全国高等学校女子

ウエイトリフティング競技選手権大会

7月21日(金)～23日(日)

58kg級出場 大平侑奈(2年)

平成29年度全国高等学校総合体育大会

ウエイトリフティング競技大会

8月2日(水)～6日(日)

77kg級出場 藤井尚輝(3年)

85kg級出場 小崎陸(3年)



◎体操部

平成29年度全国高等学校総合体育大会体操競技大会

7月29日(土)～8月4日(金)

個人戦出場 井上歩夢(2年)

個人戦出場 西原智香(3年)



◎陸上部

第70回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

7月27日(木)～8月1日(火)

4×100m出場

小野原(3年)・中村(3年)・植木(2年)・原田(2年)

光澤(2年)・蔵多喜(1年)・田中(1年)

100m出場 原田菜摘(2年)



Junior High School

女子バドミントン部全国大会出場!!

女子団体は、市内大会、県大会ともに優勝し、九州大会でも優勝、しかも3連覇という好成績を収め、佐賀県で行われた全国大会へ。目標だった全国優勝は成し遂げることはできませんでしたが、全国という舞台で、選手は緊張と闘いながらも全力でプレーしました。また、男子個人では、創部初となるダブルスの全国大会出場を決め、女子個人ではシングルス、ダブルスともに全国へ駒を進めました。大会では、出場する選手だけでなくチーム一丸となって応援！来年はこの経験と悔しさをバネに精神面、体力面とさらに鍛え上げ、悲願の“全国優勝”を勝ち取ってくれることでしょう。

<第45回九州中学校バドミントン大会> 8月6日～8日

男子団体 出場

明神光太郎(3年)、濱原和騎(3年)、水口稜太郎(2年)

山口雄大(1年)、楠本爽太(1年)、末次晴生(1年)

男子ダブルス **3位** 明神光太郎(3年)・濱原和騎(3年)



女子団体 **優勝**

本田彩香(3年)、川島菜々(3年)、赤嶺きりら(3年)

八色舞(3年)、川床美都希(2年)、下崎美桜(2年)

室屋奏乃(1年)

女子シングルス **準優勝** 赤嶺きりら(3年)

女子ダブルス **優勝** 川島菜々(3年)・八色舞(3年)

ベスト8 本田彩香(3年)・室屋奏乃(1年)



<第46回 全国中学校バドミントン大会> 8月17日～20日

女子団体出場

本田彩香(3年)、川島菜々(3年)、赤嶺きりら(3年)

八色舞(3年)、川床美都希(2年)、下崎美桜(2年)

室屋奏乃(1年)

女子シングルス出場 赤嶺きりら(3年)

女子ダブルス **5位** 川島菜々(3年)・八色舞(3年)



男子シングルスベスト16

明神光太郎(3年)・濱原和騎(3年)

水泳部の高崎 真衣さん(2年)が、100mバタフライで全国大会へ

全国中学校水泳競技大会100mバタフライに、高崎真衣さん(2年)が出場しました。惜しくも決勝進出とはなりませんが、自己ベストを更新するタイムを出し、来年につながる泳ぎができました。

◎水泳部

<全国中学校水泳競技大会>

8月19日(土) 鹿児島

100mバタフライ出場 高崎真衣(2年)

<第69回福岡県中学校総合体育大会>

7月28日(金)

100mバタフライ**3位** 高崎真衣(2年)



本や音楽、恩師など、先生の人生の転機となった出会いを教えてくださいました。



RUGBY FOOTBALL

※写真のラグビーボールは九国大付属高校ラグビー部からお借りしました。

弱小チームでのラグビー経験が、
教職者としての基礎をつくってくれた。

ラグビーとの出会いは高校1年生の時。友人に誘われたのがきっかけで、それまで運動経験があまりなかったため、恐る恐るの入り部でした。ところが、練習初日、ランニングパスで大声をあげながらグラウンドを駆け抜けた時、体の芯がカーッと熱くなるような衝撃を覚え、すっかりのほせ上ってしまいました。以来、ラグビー一直線。というところ、いかにも華々しく活躍していたかのように、全員、ずぶの素人で指導者もいない弱小チーム。戦績もパツとしませんでした。しかし、人は歩んだ道のりから世界観を形づくっていきます。私の場合はラグビーから得たものが、知らず知らずのうちに自分自身の生き方の基礎形成につながったと思っています。

どんなに生徒たちが頑張っても、思い描いたような結果が出ないことがあります。だが、その過程こそが大切であり、それを積み重ねることで確かな土壌が築かれることを、いかに伝えていくか。決して輝かしいものではなかった高校時代のラグビー経験が、その後の教職者としてのスタンスをつくってくれました。

私にとってはまさに、NORUGBYNOLIFE。今年の2月からは「玄惑クラブ」という年長者チームに入り、ボールを追いかけます。ラグビーのほせ、未だ冷めやらずです。



九州国際大学付属中学校 校長

大峯 一純

北九州市立小学校講師、北九州市立中学校教諭を経て、北九州市教育委員会中学校担当課長、北九州市立枝光台、千代、引野、黒崎中学校校長、北九州市立中学校長会事務局次長、事務局長、会長を歴任。平成29年4月、九州国際大学付属中学校校長に就任。

寄付金のお願い

現在、九州国際大学では、「教育研究用施設設備の拡充」と「教育環境整備」を目的に寄付金の募集を行っております。具体的には、校舎の耐震工事や空調機器の更新、グラウンド等校地の整備、教育情報システムの更新・整備などに順次充当しております。平成29年8月末現在、総額74,203,075円のご浄財を寄付いただいておりますが、より安定した財政基盤確立のためには、皆様方の更なるご支援が必要となります。

つきましては、寄付金の趣旨にご賛同いただき、皆様方の温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。(寄付金目標額1億円、平成30年3月まで)なお、寄付金募集に関する問い合わせや手続確認、振込用紙請求等につきましては、下記までご連絡ください。

連絡先

〒805-8512 北九州市八幡東区平野二丁目5番1号 学校法人九州国際大学 法人事務局寄付金担当
TEL093-671-8927 FAX093-671-9032 E-mail kifu@kiu.ac.jp
本学HPの寄付金情報 <http://www.kiu.ac.jp/kifu/>

学校法人 九州国際大学 平成28年度 決算状況

平成25年4月22日に文部科学省令第15号「学校法人会計基準」が公布され、平成27年4月1日に施行されました（平成27年度決算より適用）。このうち、当該年度の経常的な収支をあらわす計算書は、消費収支計算書から事業活動収支計算書に移行されました。この事業活動収支計算書は、「教育活動収支」、「教育活動外収支」及び臨時的な収支となる「特別収支」の3つの区分で構成され、各区分の収支を明らかにするとともに、当該年度の基本金組入額を控除した収支の均衡を明らかにするものです。

新会計基準に基づく平成28年度事業活動収支決算（旧会計基準の消費収支決算）は、基本金組入前当年度収支差額は、1億1,544万円の支出超過となりました。また、当年度収支差額（旧会計基準の消費収支差額）は、2億4,901万円の支出超過となっています。

「教育活動収支」における収入は35億5,101万円、支出は37億1,361万円となり、当該区分における教育活動収支差額は、1億6,261万円の支出超過となっています。

「教育活動外収支」における収入は646万円、支出は756万円となり、当該区分における教育活動外収支差額は、110万円の支出超過となっています。

「特別収支」における収入は5,558万円、支出は731万円となり、当該区分における特別収支差額は4,828万円の収入超過となっています。

これらを総じて、事業活動収入は36億1,305万円となり、事業活動支出は37億2,849万円となっています。

なお、平成29年3月末現在の運転資金（現金預金及び有価証券）は、29億3,173万円で、前年度末より1億4,174万円増加しました。「退職給付引当特定資産」は、9億7,510万円で、学校法人会計基準に基づき、当期末退職給付引当金計上額の概ね100%を積み立てた金額となっております。「減価償却引当特定資産」は、14億1,425万円となり、前年度末より5万円増加しました。これらをあわせた金融資産残高は、前年度末と比較して1億6,130万円増加しています。

※ 単位万円以下は四捨五入して表記

事業活動収支計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで) (単位：千円)

科目	予 算		決 算		差 異
	予 算	決 算	予 算	決 算	
● 事業活動収入					
● 収入の活動					
● 学生生徒等納付金	2,397,134	2,387,782			9,352
● 手数料	76,153	77,151			△ 998
● 寄付金	7,500	10,000			△ 2,500
● 経常費等補助金	888,235	888,721			△ 486
● 付随事業収入	49,857	51,395			△ 1,538
● 雑収入	133,462	135,956			△ 2,494
● 教育活動収入計	3,552,341	3,551,005			1,336
● 支出の活動					
● 人件費	2,206,622	2,205,963			659
● 教育研究経費	1,199,327	1,162,243			37,084
● 管理経費	360,350	345,409			14,941
● 徴収不能額等	0	0			0
● 教育活動支出計	3,766,299	3,713,615			52,684
● 教育活動収支差額	△ 213,958	△ 162,610			△ 51,348
● 収入の活動外					
● 受取利息・配当金	6,400	6,464			△ 64
● その他の教育活動外収入	0	0			0
● 教育活動外収入計	6,400	6,464			△ 64
● 支出の活動外					
● 借入金等利息	7,568	7,568			0
● その他の教育活動外支出	0	0			0
● 教育活動外支出計	7,568	7,568			0
● 教育活動外収支差額	△ 1,168	△ 1,104			△ 64
● 経常収支差額	△ 215,126	△ 163,714			△ 51,412
● 特別収支					
● 資産売却差額	0	0			0
● その他の特別収入	52,151	55,583			△ 3,432
● 特別収入計	52,151	55,583			△ 3,432
● 支出の特別					
● 資産処分差額	0	7,308			△ 7,308
● その他の特別支出	0	0			0
● 特別支出計	0	7,308			△ 7,308
● 特別収支差額	52,151	48,275			3,876
● [予備費]	10,000				10,000
● 基本金組入前当年度収支差額	△ 172,975	△ 115,439			△ 57,536
● 基本金組入額合計	△ 146,816	△ 133,575			△ 13,241
● 当年度収支差額	△ 319,791	△ 249,014			△ 70,777
● 前年度繰越収支差額	△ 5,542,607	△ 5,542,607			0
● 基本金取崩額	0	126,660			△ 126,660
● 翌年度繰越収支差額	△ 5,862,398	△ 5,664,961			△ 197,437
(参考)					
● 事業活動収入計	3,610,892	3,613,052			△ 2,160
● 事業活動支出計	3,783,867	3,728,491			55,376

【語句説明】：事業活動収支計算書にのみ表れる主な科目

【事業活動収入】

学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金等収入のうち、負債とならず自己資金となる収入です。よって、借入金や貸付金回収、預り金（他に支払う為に一時的に金銭を受け入れたもの）や前受金（翌年度の活動における前年度入金分）など自己資金ではないものは表示されません。その一方で、現物寄付など資金の受け入れではないものも事業活動収入となります。

【事業活動支出】

人件費、教育研究経費、管理経費等の支出をいい、学校法人の純資産の減少をもたらす支出のことです。そのため、固定資産取得に係る支出や借入金返済、貸付金支出等は事業活動支出とはなりません。引当金の繰入や減価償却などは事業活動支出になります。

【資産売却差額・資産処分差額】

不動産や有価証券などを売却した際の売却額と帳簿価額の差額をいいます。資産を売却した際、売価が資産の帳簿価格を上回った場合、その額を資産売却差額として計上します。資産を売却した際、売価が資産の帳簿価格を下回った場合、その額を資産処分差額として計上します。

【徴収不能額】

得るべき収入が徴収不能になった際、徴収不能引当金を設けていない場合やその額が徴収不能引当金残高を超えている場合に計上します。なお、本来得るべき収入のうち、その回収不能額を見積もって引当金を設ける場合には、徴収不能引当金繰入額を計上します。

【基本金組入額】

学校法人が教育研究活動を行っていくためには、校地・校舎・機器備品・図書・現預金などの資産を保有し、これを継続的に維持する必要があります。学校会計では、当該年度にこれらの資産の取得に充てた金額を基本金へ組入れる仕組みとなっています。この基本金の対象は、「学校法人会計基準」において、次の4項目に分類されています。

- 【第1号基本金】：設立当初に取得した固定資産、並びに設立後新たな学校の設置、学部学科の増設、定員や実員の拡大による規模の拡大及び教育の充実向上のために取得した固定資産の額。
- 【第2号基本金】：第1号の資産を将来取得するために充てる金銭その他の資産の額。
- 【第3号基本金】：基金として継続的に保持し、かつ運用する金銭その他の資産の額。
- 【第4号基本金】：恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額。

経常的な収支のうち、学校法人の本業である教育活動の収支。

経常的な収支のうち、財務活動に伴う収支。

教育活動及び財務活動をあわせた経常的な収支。

特殊な要因によって一時的に発生した臨時的な収支。

経常収支及び特別収支をあわせた当該年度の収支。（旧会計基準における帰属収支差額）

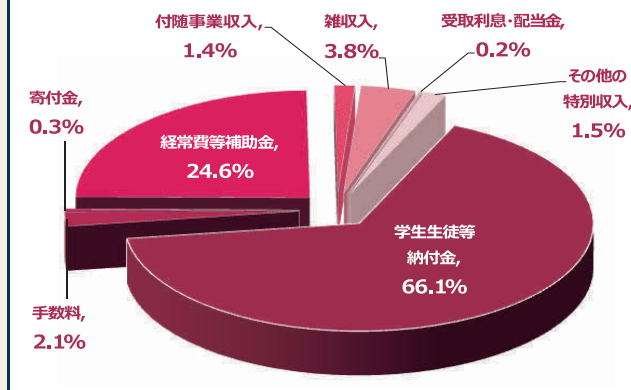
基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除した額

学校法人に帰属する収入（旧会計基準における帰属収入）

人件費、経費、借入金利息等の支出（旧会計基準における消費支出）

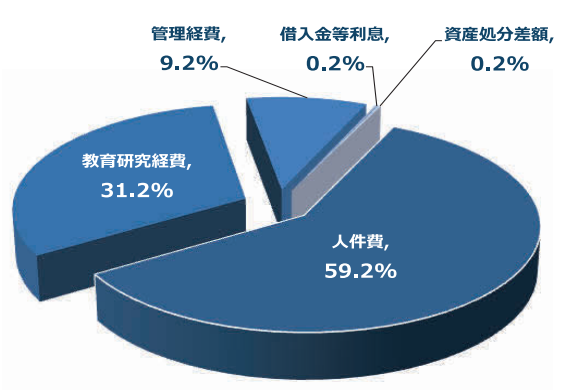
事業活動収入に対する各費目の占める割合

事業活動収入計 (3,613百万円)



事業活動支出に対する各費目の占める割合

事業活動支出計 (3,728百万円)



資金収支計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで) (単位：千円)

収入の部	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	2,397,134	2,387,782	9,352
手数料収入	76,153	77,151	△ 998
寄付金収入	59,651	62,415	△ 2,764
補助金収入	888,235	888,721	△ 486
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	49,857	51,395	△ 1,538
受取利息・配当金収入	6,400	6,464	△ 64
雑収入	131,997	133,844	△ 1,847
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	415,520	456,099	△ 40,579
その他の収入	159,232	282,829	△ 123,597
資金収入調整勘定	△ 493,626	△ 500,235	6,609
前年度繰越支払資金	2,589,993	2,589,993	0
収入の部合計	6,280,546	6,436,458	△ 155,912
支出の部	予算	決算	差異
人件費支出	2,185,646	2,181,137	4,509
教育研究経費支出	937,091	902,979	34,112
管理経費支出	328,253	313,261	14,992
借入金等利息支出	7,568	7,567	1
借入金等返済支出	105,540	105,540	0
施設関係支出	6,952	6,940	12
設備関係支出	34,324	33,066	1,258
資産運用支出	19,511	119,563	△ 100,052
その他の支出	49,757	69,078	△ 19,321
[予備費]	10,000		10,000
資金支出調整勘定	△ 22,693	△ 34,408	11,715
次年度繰越支払資金	2,618,597	2,731,735	△ 113,138
支出の部合計	6,280,546	6,436,458	△ 155,912

翌年度に入学する学生生徒等から受入れた授業料・入学金等。

長期・短期の貸付金の回収額。特定の目的のために積立たれた預金（退職・減価償却）等を取り崩した額など。

収入として計上したが、未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受入れている収入を差引くことにより、資金の収入額を調整するもの。

土地、建物、構築物等を取得するための支出。

機器備品、図書、車両などを取得するための支出。

支出として計上したものの、未払いとなっているものや、前払金支払として前年度までに支払っている経費を差引くことにより、資金の支出額を調整すること。

【語句説明】 資金収支計算書にのみ表れる主な科目

【前受金収入】

翌年度の活動に対する収入をいいます（新生入の入学金・授業料等）。

【資金調整勘定（資金収入調整勘定、資金支出調整勘定）】

資金収入調整勘定とは、当年度の諸活動に対する収入で前年度以前に資金の収入になったもの及び当年度の諸活動に対する収入で翌年度以降に資金が受け入れられるものです。資金支出調整勘定は、当年度の諸活動に対応する支出で前会計年度以前において支払資金の支出となったもの及び当年度の諸活動に対応する支出で翌会計年度以後において支払資金の支出となるべきものをいいます。

【語句説明】 資金収支計算書及び事業活動収支計算書に共通して表れる主な科目

【学生生徒等納付金】

在学又は入学の条件として、所定の額を義務的にかつ一律に納付すべきものです。授業料、教育充実費、入学金等の学生・生徒から納入されるもので、収入のうち最も大きな割合を占めます。

【手数料】

入学試験、転入学試験等のために徴収する収入です。具体的には、入学検定料、試験料、証明書発行手数料をいいます。

【経常費等補助金】

国・地方公共団体及びこれに準ずる機関から交付される補助金をいいます。

【受取利息・配当金】

預貯金や有価証券等の利息・配当金収入をいいます。

【付随事業収入】

食堂、売店、寄宿舎等の補助活動収入、外部から委託を受けて行う受託事業収入などをいいます。

【雑収入】

学校法人に帰属する上記の各収入以外の収入をいいます。これには、私学事業団等から退職金資金その他の交付金を受けたときの収入も含みます。

【人件費】

専任教職員、非常勤講師などに支給する本俸・期末手当・その他の手当・所定福利費、理事及び監事に支払う報酬などをいいます。

【教育研究経費】

教育研究のために支出する経費をいいます。

【管理経費】

総務・人事・経理業務や学生募集のための支出などで、教育研究以外の経費をいいます。

活動区分資金収支計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで) (単位：千円)

科目	金額
教育活動による収入	2,387,782
手数料収入	77,151
特別寄付金収入	10,000
経常費等補助金収入	888,721
付随事業収入	51,395
雑収入	133,844
教育活動資金収入計	3,548,893
教育活動による支出	2,181,137
教育研究経費支出	902,979
管理経費支出	313,261
教育活動資金支出計	3,397,377
差引	151,516
調整勘定等	67,009
教育活動資金収支差額	218,525
施設整備等活動による資金収支	金額
施設設備寄付金収入	52,415
施設整備等活動資金収入計	52,415
施設関係支出	6,940
設備関係支出	33,066
減価償却引当特定資産繰入支出	52
施設整備等活動資金支出計	40,058
差引	12,357
調整勘定等	28,407
施設整備等活動資金収支差額	40,764
小計（教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額）	259,289
その他の活動による収入	金額
退職給与引当特定資産取崩収入	100,000
短期貸付金回収収入	151
預り金受入収入	17,325
修学・研修旅行費預り金受入収入	9,299
小計	126,775
受取利息・配当金収入	6,464
その他の活動資金収入計	133,239
借入金等返済支出	105,540
退職給与引当特定資産繰入支出	119,511
修学・研修旅行費預り資産繰入支出	9,221
仮払金支払支出	9,844
小計	244,116
借入金等利息支出	7,568
その他の活動資金支出計	251,684
差引	△ 118,445
調整勘定等	897
その他の活動資金収支差額	△ 117,548
支払資金の増減額（小計+その他の活動資金収支差額）	141,741
前年度繰越支払資金	2,589,993
翌年度繰越支払資金	2,731,734

学校法人会計について

学校法人はその教育研究活動を行うにあたって必要な施設や設備、経営に必要な財産を持つために、自ら調達した資金の他に国または地方公共団体から経常費の補助を受けています。

国または地方公共団体から経常費補助金の交付を受けている学校法人は私立学校振興助成法の定めにより、「学校法人会計基準」という会計ルールに則った会計処理および計算書類の作成をし、公認会計士または監査法人による監査を受けて、所轄庁に届け出ることが義務付けられています。

平成25年4月22日に文部科学省令第15号にて、新たな「学校法人会計基準」が公布され、平成27年4月1日に施行されました（平成27年度決算より適用）。当該年度の経常的な収支をあらわす計算書は、消費収支計算書から事業活動収支計算書に移行されました。この事業活動収支計算書は、「教育活動収支」、「教育活動外収支」、「特別収支」の3つの区分で構成され、各区分の収支を明らかにするものです。

計算書類について

(1) 資金収支計算書

当該会計年度の諸活動に対応するすべての資金の動きを記録することによって、当該年度の収入と支出の内容を明らかにし、支払資金（現金及び預貯金）の顛末を表すものです。

※活動区分資金収支計算書

資金収支計算書の決算額を「教育活動」、「施設整備等活動」、「その他の活動」の3つの活動ごとの資金の流れを明らかにし、経営判断に資する財務情報を提供するものです。活動区分資金収支計算書は、予算と決算との差異を表示する制度（様式）ではないため、予算書の作成は求められていません。

(2) 事業活動収支計算書

当該会計年度の事業活動収支の内容を明確にし、事業活動収支の均衡を表すものです。

計算書の構造は、本業である教育・研究活動（教育活動収支）と財務活動で生じる利息等（教育活動外収支）、資産売却等の臨時的収支（特別収支）に区分され、各区分の収支差額から経営状態の健全性を把握することができます。

(3) 貸借対照表

当該会計年度末における資産・負債・純資産（基本金及び収支差額）の状況を把握し、財政状態の健全性を表すものです。

貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位：千円)

- 校舎・寮・体育館等の建物及び建物付属設備（空調等）の額。
- 教育研究のために使用される機械設備の額。
- 教育研究目的以外の機械設備の額。
- 退職金の支払いのため、将来の支出に備えて留保した資金の額。
- 老朽施設の更新や機器備品の買換え及び拡充を目的として留保した資金の額。
- 現金及びすぐに引き出せる預貯金の額。
- 決算日（3月31日）における未収額。
- 切手、はがき、図書カード等の在庫。

資産の部				負債の部			
科目	H28	H27	増減	科目	H28	H27	増減
固定資産	16,825,873	17,061,953	△ 236,080	固定負債	1,647,152	1,729,977	△ 82,825
●有形固定資産	14,183,695	14,439,208	△ 255,513	長期借入金	668,850	774,390	△ 105,540
●土地	5,270,389	5,270,389	0	退職給与引当金	978,302	955,587	22,715
●建物	6,240,385	6,442,703	△ 202,318	流動負債	783,083	719,651	63,432
●構築物	479,790	504,175	△ 24,385	短期借入金	105,540	105,540	0
●教育研究用機器備品	332,678	364,131	△ 31,453	短期未払金	30,965	47,076	△ 16,111
●管理用機器備品	32,828	37,243	△ 4,415	前受金	456,099	403,179	52,920
●図書	1,815,486	1,808,853	6,633	修学・研修旅行費預り金	79,489	70,191	9,298
●車両	12,139	11,714	425	預り金	110,990	93,665	17,325
●特定資産	2,389,349	2,369,785	19,564	負債の部合計	2,430,235	2,449,628	△ 19,393
●退職給与引当特定資産	975,098	955,587	19,511	純資産の部			
●減価償却引当特定資産	1,414,251	1,414,198	53	科目	H28	H27	増減
●その他の固定資産	252,829	252,960	△ 131	基本金	22,984,592	22,977,677	6,915
●電話加入権	3,202	3,202	0	第1号基本金	22,713,592	22,580,677	132,915
●敷金	14,640	14,640	0	第4号基本金	271,000	397,000	△ 126,000
●有価証券	200,000	200,000	0	繰越収支差額	△ 5,664,961	△ 5,542,607	△ 122,354
●長期貸付金	172	303	△ 131	翌年度繰越収支差額	△ 5,664,961	△ 5,542,607	△ 122,354
●預託金	34,815	34,815	0	純資産の部合計	17,319,631	17,435,070	△ 115,439
●流動資産	2,923,994	2,822,745	101,249	負債及び純資産の部合計	19,749,866	19,884,698	△ 134,832
●現金預金	2,731,735	2,589,993	141,742	【有価証券】			
●未収入金	97,593	156,590	△ 58,997	国債・地方債・社債・金融債・株式などがあり、会計年度末後1年を超えて保有する目的のものは「その他の固定資産」に計上します。一時的（短期的）な保有を目的とするものは、「流動資産」に計上します。			
●貯蔵品	72	105	△ 33	【現金預金】			
●短期貸付金	666	686	△ 20	現金・銀行の各種預金、郵便貯金などです。「現金預金」の額は、資金収支計算書の「次年度繰越収支差額」と一致します。			
●修学・研修旅行費預り資産	79,192	69,972	9,220	【借入金】			
●前払金	2,937	3,444	△ 507	長期借入金は、返済期限が年度末後1年を超えて到来する借入金で「固定負債」に計上します。短期借入金は、返済期限が年度末後1年以内に到来する借入金で「流動負債」に計上します。			
●仮払金	11,799	1,955	9,844	【預り金】			
●資産の部合計	19,749,867	19,884,698	△ 134,831	給料・報酬などにかかる源泉所得税、住民税など学校法人の事業活動収入にならない、他に支払うための一時的な金銭の受入額をいいます。			
				【繰越収支差額】			
				当期以前の各年度の事業活動収入から事業活動支出を差し引いた差額の累計額です。			

- 返済期限が1年以上の借入金。
- 当該年度末に教職員全員が退職した場合に支払われる退職金の見積額。
- 返済期限が1年以内の借入金。
- 翌年度に入学する学生生徒等から受入れた授業料・入学金等。
- 財産的な基礎を確保する額のこと。本学が安定的かつ持続的に経営していくために必要な額。
- 資産から負債・基本金を差し引いた額。プラスは累積黒字、マイナスは累積赤字を示す。

【語句説明】：貸借対照表に表れる主な科目

【○○○引当特定資産】

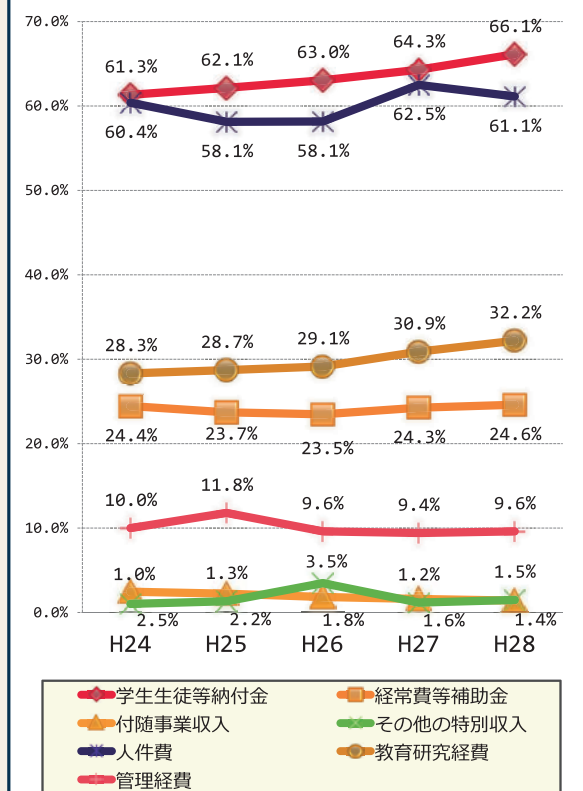
施設の増設や改築、機器備品その他の設備の拡充や買い替え、退職金の支払いなど、将来の特定の支出に備えるために資金を留保した場合に設ける勘定科目です。このような資金留保は、経営方針に基づく長期的な資金計画によって実行されます。

事業活動収支計算書（経年比較）

科目	H24	H25	H26	H27	H28
収入					
学生生徒等納付金	2,444,772	2,484,090	2,403,123	2,323,418	2,387,782
手数料	75,163	72,181	72,384	72,861	77,151
寄付金	0	0	0	0	10,000
經常費等補助金	974,599	948,652	894,604	876,486	888,721
付随事業収入	98,036	89,709	70,102	58,503	51,395
雑収入	341,830	293,888	153,127	193,348	135,956
●教育活動収入計	3,934,400	3,888,520	3,593,340	3,524,616	3,551,005
人件費	2,407,249	2,323,553	2,216,725	2,258,650	2,205,963
教育研究経費	1,129,012	1,147,901	1,110,517	1,116,463	1,162,243
管理経費	398,418	471,222	365,943	340,285	345,409
徴収不能額等	3,836	0	0	0	0
●教育活動支出計	3,938,515	3,942,676	3,693,185	3,715,398	3,713,615
●教育活動収支差額	△ 4,115	△ 54,156	△ 99,845	△ 190,782	△ 162,610
収入					
受取利息・配当金	12,594	29,224	34,012	15,764	6,464
その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
●教育活動外収入計	12,594	29,224	34,012	15,764	6,464
支出					
借入金等利息	8,387	9,837	8,577	8,893	7,568
徴収不能額等	0	0	294	294	0
その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
●教育活動外支出計	8,387	9,837	8,871	9,187	7,568
●教育活動外収支差額	4,207	19,387	25,141	6,577	△ 1,104
●經常収支差額	92	△ 34,769	△ 74,704	△ 184,205	△ 163,714
収入					
資産売却差額	0	27,075	52,590	31,410	0
その他の特別収入	40,165	53,856	132,530	42,332	55,583
●特別収入計	40,165	80,931	185,120	73,742	55,583
支出					
資産処分差額	3,916	275,678	5,645	5,474	7,308
その他の特別支出	0	0	0	0	0
●特別支出計	3,916	275,678	5,645	5,474	7,308
●特別収支差額	36,249	△ 194,747	179,475	68,268	48,275
●基本金組入前当年度収支差額	36,341	△ 229,516	104,771	△ 115,937	△ 115,439
●基本金組入額合計	△ 504,433	△ 66,156	△ 353,504	△ 559,025	△ 133,575
●当年度収支差額	△ 468,092	△ 295,672	△ 248,733	△ 674,962	△ 249,014
●前年度繰越収支差額	△ 4,683,828	△ 5,151,172	△ 5,251,818	△ 5,479,359	△ 5,542,607
●基本金取崩額	748	195,026	21,193	611,714	126,660
●翌年度繰越収支差額	△ 5,151,172	△ 5,251,818	△ 5,479,358	△ 5,542,607	△ 5,664,961
(参考)					
●事業活動収入計	3,987,159	3,998,675	3,812,472	3,614,122	3,613,052
●事業活動支出計	3,950,818	4,228,191	3,707,701	3,730,059	3,728,491

(注) 平成26年度以前の数値については、旧会計基準を新会計基準に読替えて表示しています。

事業活動収入に対する主な科目の比率（経年比較）



貸借対照表関係財務比率 (旧会計基準)

No.	比率	算式	H24	H25	H26	評価
1	固定資産 構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	87.5%	85.2%	85.3%	▼
2	流動資産 構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	12.5%	14.8%	14.7%	△
3	固定負債 構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資金}}$	6.9%	9.8%	9.2%	▼
4	流動負債 構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資金}}$	4.9%	3.2%	3.2%	▼
5	自己資金 構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	88.2%	87.0%	87.6%	△
6	消費収支差額 構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	△ 25.7%	△ 26.2%	△ 27.3%	△
7	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	99.2%	97.8%	97.4%	▼
8	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金+固定負債}}$	92.0%	88.0%	88.2%	▼
9	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	255.7%	465.8%	453.1%	△
10	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	11.8%	13.0%	12.4%	▼
11	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	13.4%	14.9%	14.2%	▼
12	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	548.1%	683.3%	759.5%	△

消費収支計算書関係財務比率 (旧会計基準)

No.	比率	算式	H24	H25	H26	評価
1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	60.4%	58.1%	58.1%	▼
2	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	98.5%	93.5%	92.2%	▼
3	教育研究 経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	28.3%	28.7%	29.1%	△
4	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	10.0%	11.8%	9.6%	▼
5	借入金等 利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}}$	0.2%	0.2%	0.2%	▼
6	消費支出比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	99.1%	105.7%	97.3%	▼
7	消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	113.4%	107.5%	107.2%	▼
8	学生生徒等 納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	61.3%	62.1%	63.0%	—
9	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	0.4%	0.3%	0.6%	△
10	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	25.1%	24.7%	26.4%	△
11	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$	12.7%	1.7%	9.3%	△
12	減価償却費 比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{消費支出}}$	11.0%	10.0%	9.8%	—

(注) ① 財務比率の評価は、各学校法人の内部事情等を個別に判断しなければ、一概にその良否をいえませんが、財務比率の高低の評価を以下のとおりとしています。

[△ : 高い値が良い ▼ : 低い値が良い — : どちらともいえない]
(私学事業団：今日の私学財政参照)

- ② 貸借対照表関係比率に表示される項目の説明
- 総資金 = 負債 + 基本金 + 消費収支差額
 - 自己資金 = 基本金 + 消費収支差額
 - 運用資産 = その他の固定資産 + 流動資産
 - 外部資産 = 総負債 - (退職給与引当金 + 前受金)

(注) 学校法人会計基準改正に対応した新たな財務比率等について

学校法人会計基準改正に伴い、財務比率も新基準に対応したものに変更されており、貸借対照表関係比率及び事業活動収支計算書関係比率の名称変更や算出方法の変更に加え、新たに活動区分資金収支計算書関係比率が設けられました。

企業会計と学校法人会計の違い

企業会計では、会計によって収益と費用を正しくとらえて営業年度の正しい損益を計算し、併せて企業の財政状態、すなわち資産・負債及び資本の状態を知ることによって、より収益力を高め財政的安全性を図ることを目的としています。

一方、学校法人は、教育研究活動により社会に有為な人材を育成することを目的とし、その収入の多くは学生生徒等の納付金や国・地方公共団体からの補助金で構成されている極めて公共性の高い公益法人であり、企業のように収益の獲得を目的とすることはできません。したがって、学校法人の会計には、損益の計算という目的はなく、また、一般の企業に比べてより一層の永続性が望まれます。

以上のことから、学校法人会計の目的は、収支の均衡の状況と財政の状態を正しくとらえ、法人の持続的発展に役立てようとすることにあり、その目的を達成するため、計算書類等を作成することになっています。

貸借対照表関係財務比率 (新会計基準)

No.	比率	算式	H27	H28	評価
1	固定資産 構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	85.8%	85.2%	▼
2	有形固定資産 構成比率	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	72.6%	71.8%	▼
3	特定資産 構成比率	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	11.9%	12.1%	△
4	流動資産 構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	14.2%	14.8%	△
5	固定負債 構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債+純資産}}$	8.7%	8.3%	▼
6	流動負債 構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債+純資産}}$	3.6%	4.0%	▼
7	内部留保 資産比率	$\frac{\text{運用資産-総負債}}{\text{総資産}}$	72.8%	77.7%	△
8	運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産-外部負債}}{\text{経常支出}}$	113.6%	121.4%	△
9	純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$	87.7%	87.7%	△
10	繰越収支差額 構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債+純資産}}$	△ 27.9%	△ 28.7%	△
11	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	97.9%	97.1%	▼
12	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}}$	89.0%	88.7%	▼
13	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	392.2%	373.4%	△
14	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	12.3%	12.3%	▼
15	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	14.0%	14.0%	▼
16	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	642.4%	598.9%	△
17	退職給与引当 特定資産保有率	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	100.0%	99.7%	△
18	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	96.8%	97.2%	△
19	減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額(図書を除く)}}{\text{減価償却資産取得価額(図書を除く)}}$	54.8%	56.4%	—
20	積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	52.3%	52.3%	△

事業活動収支計算書関係比率 (新会計基準)

No.	比率	算式	H27	H28	評価
1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	63.8%	62.0%	▼
2	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	97.2%	92.4%	▼
3	教育研究 経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	31.5%	32.7%	△
4	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	9.6%	9.7%	▼
5	借入金等 利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.3%	0.2%	▼
6	事業活動収支 差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△ 3.2%	△ 3.2%	△
7	基本金組入後 収支比率	$\frac{\text{事業活動収入-基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	122.1%	107.2%	▼
8	学生生徒等 納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	65.6%	67.1%	—
9	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.4%	1.8%	△
9	経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	0.0%	0.3%	△
10	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	25.1%	24.6%	△
10	経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	24.8%	25.0%	△
11	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	15.5%	3.7%	△
12	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	8.6%	7.8%	—
13	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	△ 5.2%	△ 4.6%	△
14	教育活動収支 差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	△ 5.4%	△ 4.6%	△

(注) 「経常収入」 = 教育活動収入計 + 教育活動外収入計
「経常支出」 = 教育活動支出計 + 教育活動外支出計

活動区分資金収支計算書関係比率 (新会計基準)

No.	比率	算式	H27	H28	評価
1	教育活動資金 収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	3.3%	6.2%	△

(注) 教育活動資金収支差額 = 教育活動資金収入計 - 教育活動資金支出計 + 教育活動調整勘定等

変更

変更

新規

学校法人九州国際大学

- 大学 法学部 / 法律学科 現代ビジネス学部 / 地域経済学科・国際社会学科
- 付属高等学校 難関クラス / S特進クラス / 特進クラス / 準特進クラス / 進学クラス / トップクラス
- 付属中学校
- 大学院 法学研究科・企業政策研究科

University



全員に記念品プレゼント!

オープンキャンパス <事前申込必要>

①平成29年10月9日(月・祝) 14:30~17:00

ズバリ解説! 入試直前「推薦・AOのポイント」

・推薦入試&AO入試のポイント ・トークってなに?

②平成30年3月3日(土) 14:30~16:00

九国大 大研究!!

・学部学科紹介や九国大の育成システムについて

お申込みは / TEL. 093-671-8916 FAX. 093-671-8995
 Email. admission@kiu.ac.jp

盛り上がっていきこう!

大学祭「橋祭」

今年のテーマは「飛躍」

平成29年11月18日(土)・19日(日)

High School



入試ワンポイントアドバイスも実施!

オープンスクール

平成29年11月11日(土) 10:00~12:30

(12:30以降のプログラムは自由参加)

学校説明&保護者ガイダンス / ステージイベント

入試ワンポイントアドバイス など

無料送迎バス / JR枝光駅発 8:30から20分毎に運行

放課後のオープンスクール

平成29年11月17日(金) 18:00~19:30

学校見学&クラブ活動見学 など

お申込みは / TEL. 093-671-8443 FAX. 093-671-9028
 Email. 959h@kif.ed.jp

Junior High School



小学6年生および保護者対象

九国プレ2017 学校・入試説明会

平成29年10月22日(日) 9:50~11:50

無料送迎バス / JR枝光駅発 8:40, 9:00, 9:20

授業を見てみよう!

秋の学校見学ツアー

平成29年11月18日(土) 10:00~12:00

お申込みは / TEL. 093-671-9001 FAX. 093-671-8998
 Email. 959j@kif.ed.jp

